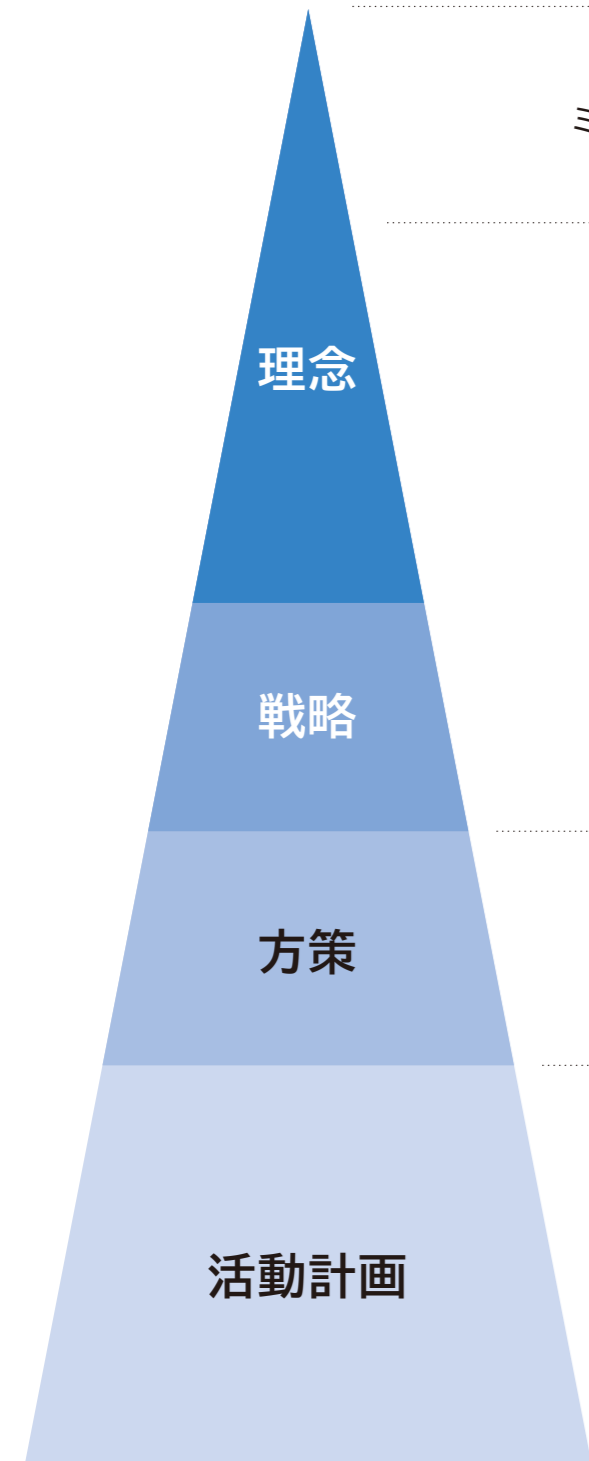


ピラミッド・ツリー構造図



第1次まるごと文化ホール計画が育ててきた特性

- ①住民主体の文化活動を支える拠点づくり
- ②生活に関わる社会活動を育てる土壌づくり
- ③市職員のプロデュース・コーディネート力を育成する拠点づくり
- ④IT技術を活用しながら、アウトリーチ型の文化活動を進める拠点づくり

ミッション		根を張ってこそ花が咲く - サードプレイスとしての魅力的なホール -															
		根を張る				花が咲く											
ビジョン		地域のきずなをホールが結ぶ (誰も取り残さない/QOLの向上)															
		小美玉の魅力をもホールが発信する (市や地域のブランド力向上に役割を果たす)															
3館の個性		個性豊かな3つのホールが共創する															
		アピオス「交流と祭り」		みの〜れ「未来へつなぐ風・あなたとつくる森」		コスモス「悠久の風土を活かす」											
戦略		A 集める - 誘引力 -		B つなげる - ネットワーク力 -		C 広げる - 展開力 -		D 深める - 文化醸成力 -									
方策		A-① 誰もが参加しやすい環境をつくる		A-② 明確なメッセージを伝える		B-① 時間軸をつなぐ		B-② 地域軸をつなぐ		C-① 新しい時代のニーズを取り込む		C-② イノベーションを起こす		D-① 自分らしさ、小美玉らしさを創る		D-② 魅力的なコンテンツをつくる	
活動計画		アピオス		みの〜れ		コスモス											
		リモートとリアルが共存する会議を標準にする		最新のデジタルツール(SNS・動画等)を先取りする 専門的な広報戦略を学ぶ		企画力・広報力を向上させるため、学びと実践の場をつくる 既存の事業に新たな人材が参加・参画する仕組みをつくる		全国の各種組織との交流の機会をつくる		学校・大学と戦略的に連携する		専門分野を学ぶ「アピオスクール」の開校		一人ひとりを活かし、小美玉らしさを生み出せるプロデューサーを育成する		制作力のあるホールになるため、積極的に舞台作品をつくる	
		すべての人に開かれた憩いの場の創出		世代にマッチした多様な手法を用いた情報提供		体験と対話を通して多世代交流をする企画事業の展開		地域の人びとのくらしをつなぐ企画事業の展開		住民自ら企画を持ち込みチャレンジできるプレゼンテーション企画事業の展開		みの〜れで培ったノウハウを市内全体に展開する		対話と共創を通じて、感動を分かち合い個性を育む		蓄積してきたノウハウを生かした魅力あるコンテンツの充実	
		公民館・図書館・史料館とも連携した気軽に立ち寄れる環境の創出		地域の特性を生かした情報発信		多世代交流や日常的な学校連携を意識した事業の展開		地域の歴史や電ケ浦を生かした事業の展開		誰もがチャレンジできる企画事業の開催		地域資源を活かす全国の先進事例を学び実践する機会をつくる		地域の魅力を活かしシビックプライドを育む		アーティストや専門家によるプロデュースによる住民参画企画	

用語説明

- ・サードプレイス： 家庭や職場以外の、とびきり居心地のよい場所。目的別にマイプレイス型と交流型に大別でき、ホールは交流型；さまざまな人々が気軽に交流できることを目的に設計された場所に該当する。
- ・QOL(クオリティ・オブ・ライフ)： ひとりひとりの人生の内容の質や、社会的にみた生活の質のことを指し、ある人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出し出しているかを尺度としてとらえる概念。
- ・イノベーション： ものごとの新しい①機軸(方法)、②結合、③切り口、④捉え方、⑤活用法を創り出す行為。従来のもの・仕組みなどに対して全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすことを指す。
- ・シビックプライド： 地域への愛着に加え、「地域をより良い場所にするために自分自身が関わっている」「自分がこの地域の未来をつくっている」という当事者意識を伴う自負心のこと。